

2018年度社会情報教育研究センター研究活動等報告

■ 政府統計部会 部会別研究活動等

1. 研究論文・著書

タイトル：「ひとが育ち自然と産業が息づくまちを目指して中小企業の熱意が田川を変えていく―2017年田川市中小企業振興基本調査―」

発行機関：立教大学 社会情報教育研究センター

発行年月：2019年2月

著者氏名（共著者含）：菊地進(編著)，櫻本健，菊池航，倉田知秋，藤野裕，濱本真一，西林勝吾，山口隆太郎，則竹悟宇

掲載種別：著書(報告書)

共著区分：共著

櫻本 健 准教授

1. 学会発表

日時：2018年12月1日

学会名等：経済統計学会東北・関東支部12月例会

場所：立教大学池袋キャンパス

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「デジタルエコノミーの伸張によるGDPに対する影響～地理的GDPとアメリカでの研究を受けて」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『統計』2018年11月号, pp.8-14

タイトル：「デジタルエコノミーの伸張によるGDPに対する影響～地理的GDPとアメリカでの研究を受けて」

発行機関：日本統計協会

発行年月：2018年10月

著者氏名：櫻本 健

掲載種別：論文（機関紀要）

共著区分：単著

掲載誌名：『季刊国民経済計算』第164号 pp.39-47

タイトル：「デジタルエコノミーの興隆によってもたらされる国民経済計算・経済統計における捕捉方法の進化」

発行機関：内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部編

発行年月：2018 年 12 月

著者氏名：櫻本 健

掲載種別：論文（機関紀要）

共著区分：単著

3. 依頼研修

日時：2018 年 5 月 14 日, 5 月 16 日

研修名：「GDP を学ぶ」

主催：内閣府経済社会総合研究所経済研修所

場所：中央合同庁舎 8 号館 416 会議室

講師：櫻本 健

対象：内閣府職員，中央省庁職員

日時：2018 年 6 月 22 日, 6 月 26 日

研修名：「国民経済計算(SNA)ステップアップ」

主催：内閣府経済社会総合研究所経済研修所

場所：中央合同庁舎 8 号館 416 会議室

講師：櫻本 健

対象：内閣府職員，中央省庁職員

日時：2018 年 10 月 12 日, 10 月 16 日, 10 月 23 日, 11 月 6 日

研修名：本科（総合課程）「国民経済計算（サテライト勘定を含む。）」

主催・場所：総務省統計研究研修所

講師：櫻本 健

対象：中央省庁職員，自治体職員

安藤 道人 教授

1. 学会発表

日時：2018 年 7 月 25 日

学会名等：富山大学経済学セミナー

場所：富山大学

発表者：安藤 道人

発表テーマ：「Universal long-term care insurance and female labor force participation:
Macro-level evidence」

日時：2018年8月22日

学会名等：Annual Conference of International Institute of Public Finance

場所：フィンランド, タンペレ

発表者：安藤 道人

発表テーマ：「Universal long-term care insurance and female labor force participation: Macro-level evidence」

日時：2018年10月20日

学会名等：日本財政学会

場所：香川大学

発表者：安藤 道人, 宮崎 将人 (代理報告)

発表テーマ：「財政調整制度前史としての明治期地方財政：府県・市町村財政の推移と地域間格差」

日時：2018年12月22日

学会名等：Japan-Taiwan Seminar on Public Finance

場所：台湾, 台北

発表者：安藤 道人

発表テーマ：「Long-Term Effects of Early Childhood Education on Adolescent Behavioral Outcomes」

日時：2019年3月21-24日 (予定)

学会名等：International Conference of Western Economic Association International

場所：慶応義塾大学

発表者：安藤 道人

発表テーマ：「Long-Term Effects of Early Childhood Education on Adolescent Behavioral Outcomes」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『経済セミナー』

タイトル：「福祉国家と社会保障の実証分析——日本についての研究を中心に」

発行機関：日本評論社

発行年月：2018年4月

著者氏名：安藤 道人

掲載種別：論文 (一般雑誌)

共著区分：単著

掲載誌名：『連合総研研究報告書』

タイトル：「社会保障と教育における自己負担改革：「必要原則に基づく総合合算制度」案の検討」

発行機関：公益財団法人 連合総合生活開発研究所

発行年月：2019 年 1 月

著者氏名：安藤 道人

掲載種別：論文（研究報告書）

共著区分：単著

濱本 真一 助教

1. 学会発表

日時：2018 年 7 月 16 日

学会名等：東北社会学会第 65 回大会

場所：岩手県民情報文化センター

発表者：濱本 真一

発表テーマ：「所有財項目による階層的地位尺度の構成——2015 年 SSM データを用いて」

日時：2018 年 8 月 29 日

学会名等：数理社会学会第 66 回大会

場所：会津大学

発表者：池田 岳大・濱本 真一

発表テーマ：「職業学科の地位達成過程の趨勢」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『2015 年 SSM 調査報告書 4 教育 I』

タイトル：「教育機会不平等構造の中の中学校——国私立中学校進学の間格差と学歴達成効果」

発行機関：2015 年 SSM 調査研究会

発行年月：2018 年 3 月

著者氏名：濱本 真一

掲載種別：論文（報告書）

共著区分：単著

掲載誌名：『2015 年 SSM 調査報告書 4 教育 I』

タイトル：「高等教育機会階層差の構造と変動——対数線形モデルを用いた進学機会の質的分断線の検討」

発行機関：2015年SSM調査研究会

発行年月：2018年3月

著者氏名：濱本 真一

掲載種別：論文（報告書）

共著区分：単著

掲載誌名：『応用社会学研究』

タイトル：「所有財項目による階層的地位尺度の構成」

発行機関：立教大学社会学部

発行年月：2019年3月

著者氏名：濱本 真一

掲載種別：論文（機関紀要）

共著区分：単著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：若手研究

研究課題番号：18K13096

採択テーマ：「統計・数理モデルによる教育達成格差メカニズムの総合的解明」

研究期間：2018年4月～2021年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：濱本 真一

西林 勝吾 助教

1. 学会発表

日時：2019年1月12日

学会名等：2018年度第1回経済理論史研究会

場所：首都大学東京秋葉原キャンパス

発表者：西林 勝吾

発表テーマ：「A.V. Kneese's Water Quality Management Research (1960s), within the History of Environmental Economics」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『環境経済・政策学事典』pp.646-647

タイトル：「クネーゼの水質管理論」

発行機関：環境経済・政策学会編

発行年月：2018 年 5 月
著者氏名：西林 勝吾
掲載種別：著書（書籍）
共著区分：共著（分担執筆）

掲載誌名：『環境と公害 48 巻 1 号』 pp.63-66
タイトル：「エムシャー川再自然化事業—エムシャー水管理組合の新たな取り組み—」
発行機関：日本環境会議
発行年月：2018 年 7 月
著者氏名：西林 勝吾・渡辺 重夫・寺林 暁良
掲載種別：論文（学術誌）
共著区分：共著

掲載誌名：『環境と公害 48 巻 1 号』 pp.45-51
タイトル：「フェルトハイムの現実とその評価—再生可能エネルギー事業の先進事例を捉え直す—」
発行機関：日本環境会議
発行年月：2018 年 7 月
著者氏名：寺林 暁良・渡辺 重夫・藤井 康平・西林 勝吾
掲載種別：論文（学術誌）
共著区分：共著

■ 社会調査部会 部会別研究活動等

1. 国際会議出席

日時：2018 年 5 月 29 日～31 日
会議名等：IASSIST & CARTO 2018
場所：Concordia University
出席者：朝岡 誠, 高橋 かおり
参加目的：国際会議出席ならびに海外のデータアーカイブ先行機関視察とメタデータ国際標準「DDI」に関する先進動向の調査・聴取および「RUDA」の海外研究者への広報活動

2. 学会発表

日時：2018年5月30日

学会名等：IASSIST & CARTO 2018

場所：Concordia University

発表者：Makoto Asaoka, Yutaka Maeda, Miho Funamori, Masaharu Hayashi,
Kazutsuna Yamaji

発表テーマ：「A Pilot Study towards Cross-Searchable Social Science Data Archive in
Japan」

日時：2018年9月16日

学会名等：第91回日本社会学会大会

場所：甲南大学岡本キャンパス

発表者：船守 美穂・林 正治・加藤 文彦・三輪 哲・朝岡 誠・高橋 かおり・前田
豊

発表テーマ：「国内社会科学系データアーカイブの横断検索に向けての試行と検討」

岩間 暁子 教授

1. 研究論文・著書

掲載誌名：『Link』Vol. 236

タイトル：「時代とともに変わりゆく『家族』のかたち」pp.4-11

発行機関：J B C Cホールディングス株式会社

発行年月：2018年10月

著者氏名：岩間 暁子

掲載種別：論文

共著区分：単著

2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究(C)

研究課題番号：15K0388

採択テーマ：「ポスト多文化主義時代におけるマイノリティと移民の包摂に関する国際比較
研究」

研究期間：2015年4月～2019年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：岩間 暁子

3. 依頼研修

日時：2018年7月30日(13:00-16:10), 7月31日(8:50-12:10)

研修名：岩手大学30年度社会教育主事講習

主催：岩手大学

場所：岩手大学

講師：岩間 暁子

研修テーマ：「ジェンダーと社会教育」

対象：岩手県、青森県、秋田県で勤務する社会教育主事講習等規程第2条に該当する者

日時：2018年11月19日(9:05-10:25)

研修名：平成30年度岩手県ひとり親家庭支援者等養成研修「ひとり親家庭支援者等養成講座」

主催：特定非営利活動法人 インクルいわて

場所：一関保健センター

講師：岩間 暁子

研修テーマ：「ひとり親家庭昔・今・これから」

対象：岩手県でひとり親家庭支援に関わる行政、団体の職員、その他相談関係職員等

高木恒一 教授

1. 研究論文・著書

著書名：『多層性とダイナミズム—沖縄・石垣島の社会学』

発行機関：東信堂

発行年月：2018年3月

著者氏名（共編者含む）：関 礼子, 高木 恒一

共著区分：共編著

著書名：『はじまりの社会学』

発行機関：ミネルヴァ書房

発行年月：2018年5月

著者氏名（編者）：奥村 隆

共著区分：分担執筆

2. シンポジウム

日時：2018年12月1日

シンポジウム名：マイノリティ・アーカイブズの構築・研究・発信

主催：立命館大学生存学研究センター

場所：立命館大学衣笠キャンパス

講演テーマ：「大学アーカイブズの意義と課題：立教大学共生社会研究センターの経験から」

朝岡 誠 助教

1. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究(B)

研究課題番号：16H03698

採択テーマ：「市民社会とともに歩むコモンズ—中山間地域活性化の数理社会学的研究」

研究期間：2016年4月～2019年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：中井 豊

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究(C)

研究課題番号：17K04098

採択テーマ：「社会変動にともなう農村のネットワーク構造の変容過程の解明」

研究期間：2017年4月～2020年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：金澤 悠介

高橋かおり 助教

1. 学会発表

日時：2018年6月9日

学会名等：第66回関東社会学会大会（口頭発表）

場所：武蔵大学 1号館4階 1403教室

発表者：高橋 かおり

発表テーマ：「グローバルに働く技能としての芸術——海外在住芸術家のキャリア形成(2)」

日時：2018年7月19日

学会名等：XIX ISA World Congress of Sociology (Oral Presentation)

場所：Metro Toronto Convention Center 206E (MTCC NORTH BUILDING)

発表者：Kaori Takahashi

発表テーマ：「The Difficulties of Artists Under Tokyo's Cultural Policy for the Year 2020: The Subsidization of Socially Engaged Arts」

日時：2018 年 8 月 23 日

学会名等：The 10th International Conference on Cultural Policy Research (ICCPR2018)
(Oral Presentation)

場所：Tallinn University,

発表者：Kaori Takahashi

発表テーマ：「Defining “professional artists” within the realm of cultural policy: The
vague boundary between professionals and amateurs in Japan」

日時：2018 年 11 月 25 日

学会名等：第 12 回文化政策学会九州大会（ポスター発表および 5 分間プレゼンテーション）

場所：九州大学大橋キャンパス

発表者：高橋 かおり

発表テーマ：「アート現場を調査する倫理と方法——対象者との関係を作る・はかる」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『新社会学研究』第 3 号

タイトル：「社会と関わる芸術にとっての地域——対立から包摂へ」

発行機関：新曜社

発行年月：2018 年 9 月

著者氏名：高橋 かおり

掲載種別：論文（学術誌）

共著区分：単著

著書名：『グローバル現代社会論』

タイトル：「芸術家の海外経験が持つ意味——キャリア形成の観点から」

発行機関：文眞堂

発行年月：2018 年 10 月

著者氏名：山田 真茂留（編）、永井 美紀子、岸 保行、宇野 真弓、佐野 麻由子、秦泉
寺 友紀、畑山 要介、相馬 直子、篠原 千佳、黒澤 壮史、高橋 かおり、富
永 京子

掲載種別：著書（書籍）

共著区分：分担執筆

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究課題番号：17K18464

採択テーマ：「アート協働制作による社会関係資本形成の社会的・実践的研究」

研究期間：2017年6月～2020年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：高橋かおり

■ 統計教育部会 部会別研究活動等

山口 和範 教授

1. 学会発表

日時：2018年7月10日

学会名等：The 10th International Conference On Teaching Statistics

場所：京都テルサ

発表者：Kazunori Yamaguchi and Michiko Watanabe

発表テーマ：「History of the Statistical Graph Competition in Japan and its Role of Statistical Literacy Developments」

日時：2018年11月30日

学会名等：滋賀大学データサイエンスフォーラム 2018

場所：滋賀大学

発表者：山口 和範

発表テーマ：「立教大学におけるグローバル人材育成とデータサイエンス教育」

2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究(C)

研究課題番号：17K00059

採択テーマ：「ビッグデータ時代に求められる統計的思考力育成のための統計教育の研究」

研究期間：2017年4月～2019年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：山口 和範

3. 依頼研修

日時：2018年10月13日 午前10時～午後12時30分

研修名：宮崎県チャレンジ文化事業

主催：宮崎大学教育学部他

場所：宮崎県立高鍋高等学校

講師：山口 和範

研修テーマ：「RESASを活用した高校生の為のプロジェクト実践」

対象：宮崎県立高鍋高等学校の生徒

山口 誠一 助教

1. 依頼研修

日時：2018年10月4日, 11日, 25日 午後6時10分～8時10分

講演名：統計検定2級試験対策講座（第2回, 第3回, 第5回）

主催：東洋大学理工学部

場所：東洋大学川越キャンパス 521 教室

講師：山口 誠一

講演テーマ：「記述統計（第2回）」, 「確率変数（第3回）」, 「推測統計（推定）（第5回）」

対象：東洋大学理工学部学生

丹野 清美 助教

1. 学会発表

日時：2018年10月27日

学会名等：第56回日本医療・病院管理学会学術集会

場所：ホテルハマツ

発表者：丹野 清美

発表テーマ：ランチョンセミナー「ヘルスデータサイエンティストの専門職掌」

日時：2018年7月7日

学会名等：The 15th Japan Conference on Teaching Statistics (JCOTS18)

場所：京都テルサ

発表者：丹野 清美

発表テーマ：統計教育の方法論ワークショップ「ヘルスデータサイエンティストのコンピテンシー及び教育プログラム」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『看護展望』

タイトル：特集：看護×テクノロジー Part2「データヘルス改革における医療・看護の展望—データヘルス改革の概要とヘルスデータサイエンティストの必要性—」

発行機関：メヂカルフレンド社

発行年月：2019年1月号（2018年12月25日発刊）

著者氏名：丹野 清美

掲載種別：月刊誌

共著区分：単著

掲載誌名：日本難病看護学会誌第23回第2号

タイトル：「難病患者の期待や思いを測る PRO～SEIQoL から選択を測る意思決定支援尺度
（日本語版 DRS）まで～」

発行機関：一般社団法人日本難病看護学会

発行年月：2018年12月（刊行予定）

著者氏名：丹野 清美

掲載種別：論文

共著区分：単著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤（C）

研究課題番号：18K09987

採択テーマ：「歩行運動治療を行う希少神経筋疾患患者の意思決定評価に関する研究」

研究期間：2018年4月～2022年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者：丹野 清美

研究分担者：中島 孝, 渡辺 美智子

採択補助金名：統計数理研究所共同利用

研究種目：重点型研究 I

研究課題番号：30-共研-4102

採択テーマ：「医療・看護・保健分野におけるデータサイエンティスト育成のためのシステム構築の検討」

研究期間：2018年4月～2019年3月

資金名称：大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所共同利用

研究代表者：丹野 清美

研究分担者：田中 朋弘, 池田 漠, 河村 英将, 朴 相俊, 藤井 良宜, 渡辺 美智子, 山内 慶太, 岡 檀, 中島 裕之, 高橋 邦彦, 脇 克志

採択補助金名：科学研究費

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究課題番号：15K15177

採択テーマ：「臨床における患者の意思決定要因の研究」

研究期間：2015 年 4 月～2019 年 3 月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：丹野 清美

4. 依頼講演

日時：2019 年 1 月 12 日 午後 1 時～4 時

講演名：Minds フォーラム 2019—「おまかせ」しない医療に向けて：患者と医療者は何を
シェアしていくべきか？—

主催：公益財団法人日本医療機能評価機構

場所：日本医療機能評価機構 9 階ホール

講師：丹野 清美

講演テーマ：講演 4 「“後悔” はどこからやってくるのか？」

対象：医療関係者，介護関係者，一般

日時：2018 年 11 月 17 日 午後 1 時～5 時 30 分

講演名：第 2 回ヘルスデータアナリティクス・マネジメント研究会～リアルワールドデー
タ活用によるファーマデータサイエンスの未来～

主催：一般社団法人ヘルスデータサイエンティスト協会

場所：実践女子大学渋谷キャンパス創立 120 周年記念館 4F 403 教室

講師：丹野 清美

講演テーマ：クロージングセッション「ヘルスデータ サイエンティスト専門職育成のため
のコンピテンシー」

対象：統計学関連者，医療関係者，ヘルスケア関連企業社員，学生等

日時：2018 年 10 月 19 日 午後 2 時 10 分～5 時

講演名：第 16 回オデッセイユニバーシティ

主催：株式会社オデッセイ コミュニケーションズ

場所：丸ビルホール&コンファレンススクエア

講師：丹野 清美

講演テーマ：「ヘルスデータサイエンティスト人材育成の展望～Society5.0 における新たな
価値創造の実現～」

対象：企業管理職，人材採用，人材開発，情報システム，教育研修ご担当者，教育機関教職員，
「統計」 関心者

日時：2018年7月22日 午前9時30分～10時30分

講演名：日本難病看護学会 第23回学術集会

主催：一般社団法人日本難病看護学会

場所：新潟県立看護大学

講師：丹野 清美

講演テーマ：「難病患者の期待や思いを測る PRO～SEIQoL から選択を測る意思決定支援尺度（日本語版 DRS）まで～」

対象：企業管理職，人材採用，人材開発，情報システム，教育研修ご担当者，教育機関教職員，「統計」関心者

日時：2018年4月14日 午後1時30分～5時05分

講演名：第1回ヘルスデータアナリティクス・マネジメント研究会～ヘルスケア領域におけるリアルワールドデータ利活用の展望～

主催：一般社団法人ヘルスデータサイエンティスト協会

場所：立教大学池袋キャンパス8号館 8304教室

講師：丹野 清美

講演テーマ：「患者の主観的評価（日本語版 Decision Regret Scale）の統計解析手法と今後のヘルスデータサイエンティスト」

対象：統計学関係者，医療関係者，ヘルスケア関連企業社員，学生等

加藤 倫子 教育研究コーディネーター

1. 学会発表

日時：2018年7月16日

学会名等：XIX ISA World Congress of Sociology (RC46 Clinical Sociology, Clinical Sociology and Crime)

場所：Metro Toronto Convention Center, Toronto, Canada

発表者：加藤 倫子

発表テーマ：Conflict and Expertise of Volunteer Probation Officers in Their Treatment Practices As "Civilians": Focusing on the Establishment and Development Phase of Offender Rehabilitation System in Japan

2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：若手研究(B)

研究課題番号：16K17277

採択テーマ：「更生保護制度における保護司の処遇実践についての歴史社会学的研究」

研究期間：2016 年 4 月 ～ 2019 年 3 月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：加藤 倫子

3. 依頼研修

日時：2019 年 1 月 25 日 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分

研修名：東京都北区保護司会 研修

主催：東京都北区保護司会

場所：東十条ふれあい館

講師：加藤 倫子

研修テーマ：『『犯罪からの立ち直り』の失敗？』

対象：東京都北区の保護司